

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p> <p>入居者が出来る事・したいと思っている事を汲み取り、ホーム内だけではなく、地域の中でそれぞれの入居者が望む生活の実現を目指した理念を掲げています。町内会行事への参加の他、近隣への挨拶を積極的に行う事で入居者も自然と関わりが持てるように支援しています。</p>		
2	<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p> <p>朝礼・カンファレンス・フロアーミーティングなどで、支援の方向性を共有し実践できるよう努めています。</p>		
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。</p> <p>近隣お店への日常的な外出や回覧板のお届けなど、気軽に出かけられるよう支援しています。行事には、ご家族も参加していただけるよう取り組んでいます。</p>	○	<p>毎年行っているホーム駐車場でジンギスカンの際、事前に近隣へお知らせしていましたが当日苦情の電話が入った為、来年度は内容・お知らせ方法内容等の再検討を行い理解していただけるよう取り組みたいと思います。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p> <p>畑や花壇作りを行う事で、通りすがりの方が声をかけて下さったり、職員の方から積極的に挨拶をする事で気やかな雰囲気作りを心がけています。</p>		
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> <p>町内会に加入し町内会行事や地域での行事に参加し、交流の機会を増やせるよう支援しています。</p>		
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> <p>地域の方がホーム見学に来られた際や、認知症介護を行っている地域のご家族へ、ホームでの支援で参考になる対応方法等があればお話しさせていただいています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>事故後の対策実施方法・個別ケース記録記入方法などの見直しを行い業務負担軽減に取り組み、評価のみで終わらないよう取り組んでいます。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>取り組み内容の報告のみではなく、参加者が気軽に意見を言えるよう交流会も行っていきます。相談・意見・質問等があった場合は、当日中または後日経過や取り組み状況をお知らせしています。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>管理者連絡会や地区会議などへ参加し、アドバイスをいただいています。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>外部研修に参加することで学び、研修後報告書等で全員が周知できる体制を作っています。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>虐待についてのマニュアルを作成し、常時閲覧できる事で意識作りをしフロアミーティング時に話合う機会を作っています。</p>	○	虐待につながる不適切なケアについてもホーム内研修に取り入れていきます。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約時には文章と口頭にて説明を行っています。ご家族やご本人の不安や疑問については契約時のみならず、都度対応させていただいています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者の想いを汲み取れるよう日常会話や表情を通し把握できるよう努め、カンファレンスやご家族への報告を行っています。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	毎月ご家族宛の手紙・金銭管理帳を請求書発送時に同封し、ホームでの生活の様子や体調について報告しています。体調の変化などがあった場合は都度報告をしています。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情処理を行うための処理体制と手順が取り決められている事を入居時に説明させていただいています。家族来訪時にはご意見等がないかこちらから伺う事で、話しやすい雰囲気作りに努めています。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝礼時やフロアーミーティング時の他、日常的に疑問点や意見を聞けるようコミュニケーションを図っています。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	医療機関への受診や行事があった時は、職員数の確保と勤務時間調整を行い対応できるよう努めています。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	離職があった場合は、入居者の気持ちを最優先し全職員統一した支援を行い落ち込みなどないように配慮しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>入社時研修・フロアー研修の他、外部研修にも積極的に参加しています。外部研修後は朝礼やフロアーミーティング時に他職員にも研修内容や得た事がわかるよう発表しています。書籍の購入も行っています。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>複数事業連携を行い職員研修を企画しています。自主的に行っている豊平区内の施設ケアマネ研修への参加や、グループホーム協議会主催の研修会開催の手伝いなどを行っています。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>職員交流の機会作りや、業務改善のためのミーティングの機会を作っています。</p>	
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>勤務状況に応じて契約社員から正社員への登用を行っています。また、外部研修参加や個人月目標の設定を行い1ヶ月間で達成可能な目標を立て支援の向上ができるよう行っています。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご本人のお話を傾聴し、言葉だけではなく表情やしぐさからも言葉に出来ない不安や求めている事を感じ取るよう心がけています。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>不安や心配事など気軽に話していただけるよう努め、相談があった時はその都度対応し信頼関係を築いています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご家族・ご本人の意向を踏まえたうえでホームの支援方針説明や他サービス・他グループホーム空き状況などの情報提供を行っています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前にご本人・ご家族と面談を行い、馴染みの生活習慣や日課を伺い入居後に生活のペースが混乱しないよう配慮しています。誤解や混乱を招かないよう、他入居者の方との会話に職員が入り顔馴染みの関係が築けるよう支援しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	入居者が出来る事を安易に代行してしまわないよう気を付け、自信を持って生活出来るよう支援しています。共に生活していると言う意識を持つ事で、楽しみ事や支え合いの関係が築けています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	来訪時にご本人や支援の様子を報告し、ご家族の気持ちや要望を伺う事で支援の共有が出来るよう努めています。行事に参加していただく事で、さらに日常の様子を知っていただく事が出来ています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ホーム内でもご本人・ご家族が楽しい時間が過ごせるように配慮しています。希望時にはご家族も一緒に昼食を召し上がる事もあります。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	遠方のご家族や親戚の方へは、手紙や電話ができるよう支援しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	日常の家事の他、個々の得意な事を活かし入居者同士が関わりを持てる場面作りを行っています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	相談があった時は都度対応を行っています。退居された入居者のご家族が現在もホームへ遊びに寄って下さっています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の言葉や表情を個人記録に記入し、センター方式を利用して本人視点でアセスメントを行いケアプランに反映しています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前にご本人・ご家族から生活歴を伺っています。入居後もご本人からのお話や、ご家族来訪時に具体的場面を以前どように行っていたか伺い、更に詳しく馴染みの暮らしを把握できるよう努めています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	予測できる事に対しては申し送り時、職員間で確認しています。変化があった場合は個人記録に記入し、日々の変化に対応できるよう努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	職員都合の支援にならないよう、アセスメント時はご本人の言った言葉や表情を大切にしています。アセスメントで得た情報をご家族へ伝える事で、ご家族からの要望やアイデアを伺いケアプランへ反映しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定期的にモニタリングや見直しを行い、必要時にはカンファレンスを開催し対応しています。		
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個々のケアプラン内容に沿った個人記録を作成し、支援を行ってどうだったか・ご本人の言葉や表情を記入しモニタリングを行い次のケアプランに反映しています。	○	入居者の言動は記録されているが、職員の対応の様子について記録されていない事があるため必要な記録についての研修を行っていきます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	個別に希望される外出や緊急時の対応など、ご家族と相談しながら都度対応しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	入居者の要望を取り入れ、ボランティアの方と事前に内容の打ち合わせを行い入居者が混乱せず支援を受けられるよう配慮しています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	必要に応じて各サービス事業所の専門職の方からアドバイスをいただき支援を行っています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議を通じて地域の情報提供などをしていただいています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力機関や主治医へ連絡・相談をしながら、日常的な健康管理・診察を受けられるよう医療連携に努めています。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	日常生活の様子や変化を診察時の他、電話などで相談し助言や指示を受け支援しています。		
45	○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職員を配置し、介護職員と連携しながら健康管理を行っています。体調の変動があった場合は、協力病院や主治医へ連絡調整をしております。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	ご家族と相談しながらご本人にとって最善と思われる状況を見極めながら主治医、病院関係者と共に退院に向けての話し合いを行っています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	重度化した場合や終末期の対応が必要な場合は、ご本人・ご家族の意向を伺い関係医療機関と連携を取り方針の共有を行います。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	ご本人・ご家族の要望や考えを伺い、ご家族・職員・主治医と情報を共有しながらご本人が不安なく生活出来るよう支援します。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>環境の変化による不安感を軽減するために、職員・他入居者とスムーズにコミュニケーションが取れるようご家族・ご本人と面談等を行い事前の情報交換を行い対応しています。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>周りにいる他入居者の方達から誤解されないような声掛け、誘導の配慮を行っています。事務所内の個人記録等については、出しっぱなしにしたりしないよう気をつけています。</p>		
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>短い単語での会話・文字でのコミュニケーション・表情や身振り手振りなど、それぞれの入居者がわかりやすいコミュニケーション方法を考え支援しています。</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>職員だけの行動をする事で入居者のペースを混乱させないよう配慮しています。コミュニケーションを取りながら共に行動する事で、表情・言葉からご本人の希望やその時のペースを把握するよう努めています。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>ご本人・ご家族の要望を伺い理美容が受けられるよう支援しています。</p>	○	<p>爪やひげが伸びているのに支援が行われていない事があるため、チェック表を利用し確実に対応できるよう取り組みます。</p>
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>食材を買いに行った時に食べたい食材を選んでいただく事や、冷蔵庫にある食材を見て何を作るか相談して調理に参加したくなるような雰囲気作りに努めています。味付けや食材切り、盛り付けなどそれぞれ得意な事で参加出来るよう支援しています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	買い物へ出かけ、飲み物やおやつなどを選べるように支援しています。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄の間隔や水分摂取量を把握する事で、トイレ誘導を行っています。パットを使用している方の皮膚の清潔保持にも心掛けています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴希望の時間を伺い、希望時間に入浴が出来るよう支援しています。状況により足浴に変更するなど、臨機応変に対応しています。	○	入浴間隔が空いてしまう入居者に対して、入浴したくない原因となる理由をさらに理解し、清潔保持ができるよう取り組みます。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	眠れない様子の時は、気持ちの不安がないか・体調不良なのか会話や表情・バイタルなどから把握できるよう努め、日中の過ごし方がどうか話し合い安眠できるよう心掛けています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	入居前の生活歴や現在の生活の様子から趣味や得意な事をみつけ日常生活の余暇に取り入れれたり、ホームでの役割を持つ事で張りのある生活を送れるよう支援しています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	食材の買い物など支払いを職員が行うのではなく、入居者が支払い・つり銭の受け取りが行えるよう支援しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	日常的に散歩や買い物へ出かけられる機会を作っています。ホームでの外出行事では、入居者の要望を取り入れて企画しています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	外出行事に取り入れれたり、ご家族と外出・外泊で出かけられるよう支援しています。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人に届いた手紙を郵便受けまで取りに行けるよう支援し、電話をかける時は番号ボタンを自分で押せるよう支援しています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	来訪時には居室だけではなく、リビングや食堂でもゆっくり過ごしていただけるよう配慮し、他入居者とも顔馴染みになれるように職員が間に入り会話できるよう心掛けています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	マニュアルを作成し、いつでも読めるようにしています。フロアーミーティング時の勉強会でも取り入れています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	自由に出入りできるように、日中は玄関に鍵はかけていません。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	リビングや食堂だけではなく、好きな場所で過ごせるように廊下やベランダ付近にイスを置き、どのように過ごされているか把握に努め安全に過ごせるよう配慮しています。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	危険の予測される物は収納し、使用出来る方は自由に使用できるよう配慮しています。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	同じ事故が起こらないように事故対策を実施していましたが、対策が不十分だったためか同じ事故が起きてしまうケースがありました。その日の体調変化を見逃さず、職員間の情報伝達・連携を図り事故防止に努めています。	○	更に行動や事故の予測が出来るようフロアミーティング時の研修や定期的なアセスメントを行っていきます。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	各フロア一事務所に緊急対応マニュアルを置いています。行事で餅つきがある前は、誤嚥に対する救急対応の再確認を事前に行っています。	○	定期的な救命救急訓練を行っていなかったため、今後は定期的に行える体制を作ります。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年2回日中の火災・夜間の火災想定で避難訓練の実施をしています。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切に した対応策を話し合っている。	今後予測される事・ホームでの対応や支援について、ご家族に相談させていただきながらご本人が望む生活の実現に近づけるよう支援しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p> <p>毎朝バイタル測定を行い、体調の変化がないか把握に努めています。体調の変化があった場合はご家族へ報告し、経過観察又は医療機関への受診をして必要な医療が受けられるよう留意しています。</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p> <p>薬の処方があった場合は、薬の数・説明書き内容確認しています。全職員が必要事項を確認し、薬のセットをする時には一人で行わず再確認する体制を作っています。新しく薬が処方され服薬開始になった後は、副作用がないか朝礼・申し送り時に確認しています。</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p> <p>個々の排便間隔や時間帯を把握し、便秘予防として水分摂取・運動・食事などご本人の負担にならないよう日常生活の中に取り入れています。</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p> <p>全て口腔支援を行うのではなく、ご本人が出来るところまで行っていただけるよう支援し、磨き残しがあった場合は介助させていただいています。</p>		
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p> <p>食事摂取量・水分摂取量を記録し、少ない時には好みの物・口当たりの良い物などで捕食できるよう支援しています。</p>		
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p> <p>感染予防に関するマニュアルがあります。職員・入居者だけでなく、来訪者へのうがい・手洗いの声掛けを行い予防に努めています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	衛生マニュアルを基に基づき衛生管理を行っています。消毒の他、冷蔵庫に食材を詰め込まない・出しっぱなしにしない等職員間で注意しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	花壇や畑を眺められるように建物前にベンチを置いています。天気の良い日は、ベンチでお茶を飲んだりして地域の方と挨拶をかわせる場にもなっています。		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	照明のスイッチ・カーテンの開け閉めなど、入居者自身で行えるよう支援しています。共用日用品も自由に使用できるように配置しています。		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	各所にイスを置き、自由に過ごしていただいています。リビング以外でもゆったりと過ごせる所で、気の合う入居者同士が談話できるよう支援しています。		
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	入居前にご家族へ使い慣れた物を持ち込んでいただけるようお話しています。入居後は、ご本人の好みや興味のある物を置き居心地の良い居室になるよう支援しています。		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	各所に温湿度計を設置し、必要時には換気や加湿を行っています。脱衣室の温度管理にも留意しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	要所に手すりや滑り止めを設置し安全に配慮しています。台所用品の収納も、入居者が使いやすいよう収納されています。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	見てわかる工夫・聞いてわかる工夫を個々の状態に合わせて環境を作るよう努めています。		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	畑や花壇の水やりを行う事で、気軽に外へ出られ気分転換ができるよう支援しています。		

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある <input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> ②家族の2/3くらい <input type="radio"/> ③家族の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ○②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ○②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ○②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ○②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

入居者の要望を汲み取れるよう心がけています。
日常生活の中で個々の役割を見つける事で、自信や達成感を感じていただけるよう支援しています。